



4月24日発表の東北地方の1か月予報（4月26日～5月25日）では、平年に比べて気温は高く、日照時間は平年並みか少ない見込みです。特に5月3日から9日までの気温が平年より高くなる見込みです。

◎ 当面の技術対策

高品質でおいしい「雪若丸」を安定的に生産するためには、初期生育量を確保することがとても重要です。充実した苗で田植えができるように以下のポイントを確認しましょう。

(1) 健苗育成 ～「雪若丸」の苗丈は短い～

「雪若丸」の苗丈は、「はえぬき」より短い特徴があります。無理に伸ばそうとせず、生育指標に沿った丈夫な苗を作りましょう。

苗の生育指標（「雪若丸」栽培マニュアル抜粋）

苗種	移植適期葉数 (枚)	苗丈 (cm)	第1葉鞘高 (cm)
稚苗	2.5	11～12	3.5以内
中苗	3.5	13～14	3.0以内

※稚苗は育苗日数20～25日、播種量150～180g(乾籾)/箱

中苗は育苗日数30～35日、播種量80～120g(乾籾)/箱

「雪若丸」は
「はえぬき」より
苗丈が短い！

移植時の苗（稚苗）の比較

品種名	苗丈(cm)	葉数(枚)	乾物重(g/100本)
雪若丸	11.6	2.7	1.61
はえぬき	12.7	2.7	1.47

注) 水田農業試験場、H27～29の調査値平均

(2) 適期内で早めの田植え

「雪若丸」は、内陸地域では5月15日頃から5月25日頃まで、庄内地域では5月10日頃から5月25日頃までの風が弱く温暖な日に田植えします。適期内で早めの田植えが、初期生育の確保に繋がります。栽植密度は植込本数を100本/m²程度（株当たり植込本数 4～5本程度、m²当たり株数19～22株）とし、植付深は3cmを基本として深植えしないようにしましょう。

**育苗ハウスの換気や温度管理の参考に
「高温アラート」を活用ください！**



←
詳しくは
こちらから